

## 補足説明

### (1) 「標本の大きさ (sample size) と標本数 (number of samples)」について

この両者はしばしば混乱して用いられることが多いので、注意が必要です。

いま、母集団から無作為に20個のデータを含む標本を取り出したとします。この20は「標本の大きさ (sample size)」で、「標本の大きさは20」または「大きさ20の標本」と表現します。統計学や計量経済学では、しばしば、 $n=20$  または  $T=20$  と書かれます。(この20個のデータが一組の標本を構成していると考えます。)

これに対して、同じような実験を30回繰り返した結果、「大きさ20の標本」が30組得られたとします。このとき、30が「標本数 (number of samples)」と呼ばれます。つまり、この場合には、「標本数は30」、「それぞれの標本の大きさは20」となります。

標本の大きさが大きい場合を「大標本 (large sample)」、小さい場合を「小標本 (small sample)」と呼びます。